



Gifu Pharmaceutical University

1-25-4 Daigaku-Nishi, Gifu 501-1196, JAPAN Phone +81-58-230-8100

Fax +81-58-230-8105

拝啓

初秋の候、皆様におかれましては、ますますご清祥のことと心よりお喜び申し上げます。平素は格別のお引き立てにあずかり、厚くお礼申し上げます。

さて、岐阜薬科大学グローバル・レギュラトリー・サイエンス寄附講座主催により、下記のように講演会を開催いたしますので、ご案内申し上げます。

第四回となる今回は、ワクチン開発をテーマに、そのベネフィット・リスク評価や次世代アジュバントの開発を含めて、海外の事例を参考にしながら議論していく講演会を予定しております。ご多忙中とは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご参加下さいますようお願い申し上げます。

敬具

平成28年9月吉日

岐阜薬科大学

学長	稲垣 隆司
特任教授	塚本 桂
特任助教	松丸 直樹
客員教授	竹中 登一

記

第4回 岐阜イノベーション講演会 (国際シンポジウム)

Vaccine Development for Future 今後のワクチン開発のあり方を考える

日 時：平成28年10月6日(木) 12:00~17:00

会 場：岐阜薬科大学本部 第一講義室150席(岐阜市大学西1-25-4)

シンポジスト：神谷元博士(国立感染症研究所)、Pieter Neels 博士(コンサルタント、ナミュール大学、元EMA VWP 専門委員)、Paul Scuffham 教授(グリフィス大学、クイーンズランドメンジーズ保健機関応用医療経済センター)、中田文久先生(UMN ファーマ)、石井健教授(医薬基盤・健康・栄養研究所、大阪大学免疫学フロンティア研究センター)、塚本桂特任教授(岐阜薬科大学)

後 援：日本ワクチン学会、他(調整中)

参 加 費：無料(事前予約可能)

備 考：英語での開催(通訳無、一部日本語有)

以上



岐阜薬科大学 — グローバル・レギュラトリー・サイエンス

第4回 岐阜イノベーション講演会 国際シンポジウム

Vaccine Development for Future 今後のワクチン開発のあり方を考える

予防薬であり感染症対策に有効なワクチンは、通常の治療用医薬品と異なった観点からもベネフィット・リスク(B/R)評価を行わねばなりません。そしてB/R評価は、ワクチンの開発、承認、使用のあらゆる段階の意思決定に、様々なレベルで用いられています。特にリスクが過剰評価されている中で、医学的のみならず社会的、経済的、倫理的にB/R評価を行うことが求められてきており、導入が決定された医療評価技術(HTA)の活用も視野に入っています。一方、新たなパンデミックに対応するためには、新しいワクチン製造や免疫能をコントロールする安全かつ有効なアジュバントなどの技術導入も含めた、短期間での開発、承認が必要です。さらに、発展途上国における感染症対策としてワクチンは非常に有効であり、我が国の国際貢献の一環として官民パートナーシップによる基金を介した取り組みがなされていますが、医療環境の整わない場所でもワクチン接種ができる剤形の開発も重要です。したがって過去の経験的判断のみならず、新しい判断基準の設定や柔軟なB/R評価が必要になってくるでしょう。

今後のワクチン開発のあり方を、日本とは異なった制度や評価も活用している海外の事例も参考にしながら、産官学各方面から議論していく講演会(国際シンポジウム)にしたいと考えています。

日時: 2016年10月6日(木) 12:30-17:00

場所: 岐阜薬科大学(本部) 第一講義室

住所: 岐阜市大学西1-25-4

講演会は英語で行われます。参加無料(先着順、事前登録も可能)

シンポジスト

神谷元 博士	(国立感染症研究所感染症疫学センター)
Pieter Neels 博士	(コンサルタント、ベルギー・ナミュール大学准教授、 元EMA VWP専門委員、元FAMHP)
Paul Scuffham 教授	(オーストラリア・グリフィス大学教授、 クイーンズランドメンジーズ保健機関 応用医療経済センター長)
中田文久 先生	(UMNファーマ取締役)
石井健 教授	(医薬基盤・健康・栄養研究所、大阪大学教授)



連絡先

岐阜市大学西1-25-4

岐阜薬科大学 グローバル・レギュラトリー・サイエンス寄附講座

特任教授 塚本 桂、特任助教 松丸 直樹

TEL&FAX: 058-230-8100、email: tsukamoto@gifu-pu.ac.jp、matsumaru@gifu-pu.ac.jp

プログラム

- 12:30 開会のことば
足立哲夫 教授 (岐阜薬科大学副学長)
- 12:35 講演 1 (イントロダクション)
HPV ワクチンのわかりにくいベネフィット/リスク評価
塚本桂 特任教授 (岐阜薬科大学、グローバル・レギュラトリー・サイエンス)
- 12:45 講演 2
ワクチンの有効性について (疫学的研究成果を含む)
神谷元 先生 (国立感染症研究所)
- 13:25 講演 3
ヨーロッパおよび世界におけるワクチンの動向
Pieter Neels 先生 (コンサルタント、元 EMA ワクチン専門委員副委員長)
- 14:05 休憩
- 14:15 講演 4
ワクチンの HTA
Paul Scuffham 教授 (グリフィス大学、医療経済学)
- 14:55 講演 5
今後のワクチン開発について (企業の立場から)
中田文久 先生 (UMN ファーマ、取締役)
- 15:20 講演 6
今後のワクチン開発について (技術的な展望)
石井健 教授 (大阪大学免疫学フロンティア研究センター、医薬基盤・健康・栄養研究所)
- 16:00 休憩
- 16:10 総合討論
より良いワクチンを開発するために
- 16:50 閉会のことば
Pieter Neels 先生
塚本桂 特任教授
- 座長 : Pieter Neels 先生
松丸直樹 特任助教 (岐阜薬科大学、グローバル・レギュラトリー・サイエンス)